



浅沼 幸雄 議員  
(政和クラブ)  
一問一答方式

その他の質問

- 本市における認知症の現状と今後取り組む方策について

# 市内における教職員の労働環境の実態は

問.....

教職員の長時間労働が社会問題化しているが、市教育委員会では、当市における労働環境の実態をどのように把握しているか。

答.....

平成24年4月から、各小学校長が、所属職員の日曜・日曜を含めた時間外勤務の状況把握・とりまとめの上、

年2回教育委員会に報告することとしており、平成28年度における教職員一人に係る一カ月当たりの時間外勤務は、小学校については約33時間、中学校については約46時間となっている。

一カ月を20日勤務として換算した場合、教職員一人当たり、小学校では一日に約1時間40分、中学校では一日に約2時間20分の時間外勤務をしているとい

うことになり、平成27年度以前についても、ほぼ同じ結果で推移している状況となっている。

中学校の教職員の時間外勤務が小学校の教職員より多くなっている理由は、6月・10月に中総体・新人戦のある時期と重なりと捉えている。

問.....

教職員の業務改善とは、何をさしていると考えるか。

答.....

時間的な多忙さもさることながら、内容的な多忙さも改善しなければと考えている。

問.....

部活指導員や専門スタッフ、地域住民との連携を深め「チーム学校」として、複雑化・多様化する課題に対応できる環境整備も必要ではないのか。

答.....

教職員が本来担うべ

# 教職員の業務改善策は

き学務に専念できる環境を作らなければならぬと考えている。専門スタッフを学級に配置し、地域も学校をささえ、「チーム学校」として子ども達に向きあっていきたい。



市民の協力により少しでも教職員の負担が軽減される(達首部地域教育協議会の様子)



瀧本 孝一 議員  
(市民クラブ)  
一問一答方式

# 宮守総合支所の今後と周辺地域活性化の方策は

問.....

議会機能の移転による、9月以降の宮守総合支所2階の利活用方針は。

答.....

昭和30年に旧三方村が合併し、昭和48年に完成して43年が経過した宮守総合支所は、町民のまちづくりにかける様々な思い、出来事

の歴史が刻まれている。それらの歴史を保存・展示し、後世に継承していくため、支所二階を「(仮称)宮守千年の森歴史伝承館」として、地域活動の拠点となる会議室等も含め、地区センターや関係者・団体と丁寧な協議を進めて整備する。

の中で、鱒沢・達首部等中心市街地から離れた宮守地域全体の活性化をどのように図っていくのか。

わさびや稲荷穴、馬力大会など地域資源をうまく取り込みながら、地区センターを中心としてモデルプランを策定し、地域の底力を発揮できるように、小さな拠点をネットワークにしながら遠野全体の底力につなげたい。

問.....

急激な人口減少時代



議会機能の新庁舎移転後、2階フロアが(仮称)宮守千年の森歴史伝承館や会議室に改修予定の宮守総合支所

問.....

耕作者減少・遊休農地の増加等人口減少時代における、組織として「農地を守る」という意義や方針は。

答.....

当市の経営耕地面積は、2015年農林業センサスで3570haと公表され、5年前の調査から914ha減少した。これは、高齢化や後継者の相続放棄、担い手の減少等に起因していると思われるが、国民への食糧を提供する基盤である農地の確保と有効利用は大変重要であり、優良農地は是

が非でも維持していることとする方針である。

市内高原牧場の原発事故放射線被害からの再生による放牧・採草農地の重要性の認識と、景観保全の関係性は。

市内の高原は、畜産農家に粗飼料の提供及び放牧地として重要な役割を果たしていること認識している。今後とも耕作放棄地を「作らない・出さない」活動で、農村景観の保存に努めていく所存である。

答.....

市内の高原は、畜産農家に粗飼料の提供及び放牧地として重要な役割を果たしていること認識している。今後とも耕作放棄地を「作らない・出さない」活動で、農村景観の保存に努めていく所存である。